

# 環境放射線測定等に必要な経費 ロジックモデル

## 現状把握 -課題設定

## インプット (資源)

## アクティビティ (活動)

## アウトプット (活動目標・実績)

## アウトカム (成果目標・実績)

## インパクト (国民・社会への影響)

東京電力福島第一発電所の事故対応として、周辺地域の早期環境回復及び生活環境に対する住民の不安を払拭するため福島県を中心に放射線測定機器を整備した。

当該機器は、設置後10年を経過しており故障等により安定した稼働を維持し続けることが困難な局面にある。

令和3年度予算  
1,453百万円  
  
令和3年度執行額  
1,420百万円  
  
令和3年度執行率  
98%

| 年度    | 予算額   |
|-------|-------|
| R2FY  | 1,086 |
| R1FY  | 1,137 |
| H30FY | 1,118 |
| H29FY | 1,108 |
| H28FY | 1,520 |

**【活動①】**  
○福島県を中心に整備した可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システムの維持管理  
○福島県を中心に整備した可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システムの稼働状況調査

**【活動②】**  
福島県の各市町村に貸出しているサーベーターの性能維持

**【活動指標①】**  
○可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システムの点検校正・保守及び修理  
**【実績】**全台実施  
○可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定の24時間365日監視  
**【実績】**全台監視

**【活動指標②】**  
○サーベーターの点検校正  
**【実績】**  
(R3年度)  
1941台/1941台

**【成果目標】**  
福島県を中心に整備した可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システムで測定した放射線量率をリアルタイムで公開する。

**【成果実績】**  
365日リアルタイムで公開

**【成果目標】**  
福島県の各市町村に貸出しているサーベーターの性能を維持する。

**【成果実績】**  
(R3年度)  
1877台/1941台(合格品数/点検校正台数)

**【政策】**  
原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守ること

**【施策】**  
東京電力福島第一発電所の廃炉の安全確保と事故原因の究明